森忠新聞

2月号
（第61号）
平成25年2月1日(金)

発行元：株式会社　森忠
札幌市白石区
北郷3-2-1-3
TEL011-876-1133
FAX011-876-1144

皆様はじめまして

昨年12月から入社したヤマミチです！ 1ヶ月経ちましたが、まだまだわからない事だらけでお客様にはご迷惑をおかけしてしまうこともあると思います。これからお客様のお役に立てる存在になるため、日々努力し成長しますので温かく見守っていただけたら幸いです。今回は私の冬のお勧めｱｲﾃﾑを紹介します☆

私は冬にﾑｰﾄﾝﾌﾞｰﾂを履いています。でもいつも履いていたものは水が浸み込みやすく足が凍えていました。ｲﾝﾀｰﾈｯﾄで「emu」というﾌﾞﾗﾝﾄﾞのﾑｰﾄﾝﾌﾞｰﾂを発見し、耐水性のあるｼｰﾌﾟｽｷﾝという材質のものを使用していることや、かわいい色も沢山あったので購入しました☆それから、晴れの日も猛吹雪の日も毎日履いていますが、一度も浸みたことがありませんし、足も冷えることがなく快適に歩けます♪しかも凍結している路面でも滑りにくいです！今期の冬はまだ一度も転んでいません！春になるまで手放せなくなりました★価格は10000円位です。ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄにも喜ばれると思います！ぜひいかがでしょうか♪（山道）

「SKオートロックPro KAIDAN　ALCP-2555KD」を使ってみる！　（第24回紙上ﾓﾆﾀｰ）

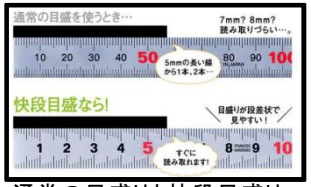
まだまだ寒さ厳しいこの季節、皆様いかがお過ごしでしょうか。大雪のせいで雪かきが大変すぎてなかなか筋肉痛が治らないTです。さて、今回ご紹介するのは、そんな寒さも忘れさせてくれる様な驚きの新商品です。その名も「SK ｵｰﾄﾛｯｸPro　KAIDAN ALCP-2555KD」です。このｺﾝﾍﾞｯｸｽの凄い所は、まずﾈｰﾐﾝｸﾞにも入っている通り目盛りが階段状に付いていて目盛りの読み違えをしにくいようになっているところと、従来のｺﾝﾍﾞｯｸｽのﾛｯｸ機構とは違い、ﾃｰﾌﾟ部分を引き出すと自動でﾛｯｸが掛かり、戻すのはﾎﾞﾀﾝ一つﾜﾝﾀｯﾁで巻き戻る仕組みになっている所です。ﾗﾊﾞｰ付ﾎﾞﾃﾞｨで落下等の衝撃に強くﾂﾒ部分の周りも保護されているのでﾂﾒが落下等の衝撃で破損するのを守ってくれます。ﾃｰﾌﾟ幅25mm、ﾃｰﾌﾟ長5.5mと実用的なｻｲｽﾞです。

そんな「SK ｵｰﾄﾛｯｸPro KAIDAN ALCP-2555KD」今回超、超、超大特価商品として、販売させていただきます。

この商品で気になるあの子との心の距離を測れるかもしれない「SK ｵｰﾄﾛｯｸPro KAIDAN ALCP-2555KD」森忠店頭に並んでおりますので、ぜひぜひご購入お願いいたします。詳しい価格は森忠社員まで～。（T）

当社社員のAも
大満足な使い心地

引出すだけで自動ﾛｯｸ！！
巻戻しもﾜﾝﾀｯﾁ！！



通常の目盛りと快段目盛り
見やすさが段違いです。

今年こそは結婚・・・

またひとつ楽しみにしているものが消えた・・・。ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞで放送されていた「世界は言葉でできている」がどうやら打ち切りになったらしい。世界の著名人が残した名言を虫食い問題にして、回答者がそこに自分の言葉を入れ、本家の言葉を上回る名言を作り出すというただそれだけの番組だった。心にｸﾞｯと突き刺さるなにか不思議なﾃﾚﾋﾞだったのに・・・。森忠新聞の原稿依頼が来た時、何を書こうかと毎回悩む。薄っぺらな人生、そうそう面白いｴﾋﾟｿｰﾄﾞが転がっている訳もない。だが、一旦書き始めるとあ～でもないこ～でもないと文字を書き連ね、編集長の頭を悩ませるほどの字数で提出。実はそんなに嫌いじゃなかったりもする。仕事に明け暮れ（？）本も読まなくなったが、国語好きな私。ﾋﾞﾃﾞｵに撮っては何回も見ていた久しぶりにﾊﾏｯた番組だったのに。たったの5回で終了ということは世間の評判は言わずもがな。でも、今でも名言を紹介する森本ﾚｵのﾅﾚｰｼｮﾝが頭の中をｸﾞﾙｸﾞﾙ回る。「男は女の幸せを願う。女は二人の幸せを願う。」「あなたの為に世界を捨てる事はできない。しかし、世界の為にあなたを捨てる事もしない。」ｸ～～～ｯ★★★こんな台詞を吐いてみたくなりませんか？多いﾌﾟﾛﾎﾟｰｽﾞの名言を毎日考えております。なんて妄想の世界にどっぷりとﾊﾏり、現実逃避から目を覚ますとこの名言を試す相手がいない・・・。私Wの2013年の目標は結婚！！仕事そっちのけで、世界で一番ｸﾞｯとくる名言をぶつける相手を見つけることに専念いたします。仕事を疎かにしてしまうことを宣言したWですが、皆様方にはそこのところを十分考慮して暖かく見守って頂き、今年も一年よろしくお願いいたします。（W）

101のひとみ

★最近購入したお気に入りの本★『101のひとみ』！！映画やﾃﾚﾋﾞでも見た『盲導犬ｸｲｰﾙ』ﾍﾞｽﾄｾﾗｰになった『盲導犬ｸｲｰﾙの一生』のﾌｫﾄｸﾞﾗﾌｧｰ、秋元良平さんの本。目を中心にしたﾜﾝちゃんの写真にどんどん引き込まれました。51匹なのに、なぜひとみが101なのか。それは、最後の1匹の目がひとつだから。我が家にも愛犬がいますがとても表情豊かでひとみというのはほんとうに心のかがみそのもの。嬉しさ、悲しさ、寂しさ、相手を想う気持ち、たくさんの想いがうつしだされています。この本は、秋元先生の一匹のﾜﾝｺとの「出会い」から始まりました。ｱﾒﾘｶ西海岸のﾊﾞｰｸﾚｰ。芝生でおおいつくされた広々としたﾄﾞｯｸﾞﾗﾝで投げられたﾎﾞｰﾙをおっかけ、持って来ては「また、投げて！」と何回も何回も無心に遊ぶﾜﾝｺ（女の子）。ﾊﾟｰﾄﾅｰに近づいて「撮影してもいいですか？」と聞いて、よく見ると、ひとつの目のﾜﾝｺだったそうです。「輝くひとみ」で天真爛漫にﾎﾞｰﾙを追いかける姿はいきいきとしていて、この「出会い」がきっかけとなりました。ﾜﾝｺのｷﾗｷﾗと輝く綺麗なひとみから、たくさんの想いが感じられる、素敵な一冊です☆（E）

1.電気防食効果で長期に渡り、ｵｰﾙｱﾝｶｰを錆から守る
2.ﾒﾝﾃﾅﾝｽｺｽﾄが大幅に削減
3.ｽﾊﾟﾅ等で締付けるだけの簡単施工